

競技注意事項

1. 2023年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
2. 招集について
 - (1) 招集時間
種目により招集開始時間、招集完了時間が違うので裏表紙の競技時間表で確認のこと
招集完了時刻に余裕をもって集合すること。
 - (2) 招集所は、全てメイン競技場・第1ゲート外側招集所とする。
 - (3) 競技場への入場は招集完了後、選手誘導係により入場するので、招集後は指示があるまでその場で待機すること。
 - (4) 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた選手は出場を認めない。
招集時にスパイクピンを確認する。(オールウェザー用9mm以下)
2020年度に改定し更新されているシューズ規程に関するルールの適用外とする。
 - (5) 混合リレーは、オーダー用紙を招集完了の1時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受けること。(決勝も同様)棄権する場合は、その旨を口頭で招集所へ申し出ること。
 - (6) オーダー用紙は、T I Cに準備する。
 - (7) 電子機器類の競技場への持込を禁止する。(携帯電話、ミュージックプレーヤー、スマートウォッチ等)
招集所で持ち物をチェックすることがある。
3. 表彰について
 - (1) 各種目1位から8位までの入賞者・チームは、表彰を行う。
1位から8位までの入賞者は競技終了後、すみやかに表彰控え室(競技場正面玄関:エントランス)に集合すること。(友好100mは、表彰および、賞状の対象外とする。)
 - (2) 各種目の優勝者には、三重陸協よりチャンピオンTシャツを授与する。
表彰後に必要事項を記入して全国大会・東海大会申し込み場所まで提出すること。
4. 競技方法について
＜トラック競技＞
 - (1) トラック競技は、予選上位8人(チーム)により決勝を行う。
 - (2) スターターの合図はイングリッシュコール「On your marks」「Set」とし、信号は電子音で行う。
 - (3) スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートを認める。
スターティングブロック、スパイクは使用してもよい。(素足は禁止する)
ただし、1・2年生はブロックは使用しない。
 - (4) 同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
 - (5) トラックレースにおいて、スタート前に腰ナンバーカードの代用として、レーンを示す色テープを配布するので、右腰やや後方に貼り付けること。
 - (6) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
 - (7) リレー競技(男女混合4x100mR)は男女各2名から編成され、走順は自由とする。
(補欠についても男女各1名ずつとする)
 - (8) テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
 - (9) リレー競技に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全競技者とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
 - (10) リレー競技のエントリー者のうち、リレー競技に出場しない選手は友好レース(100m)に出場できる。また、当日、感染症等でチームが棄権となった場合、残りの選手は友好レースに出場できることとする。**9時まで**に出場者を書面にてT I Cへ提出のこと。
 - (11) 80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。

<フィールド競技>

- (1) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。また、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
コンバインドA 走高跳のバーの上げ方（天候により変更有）

（練習） （開始）

0m90 0m95 1.00 1.05 1.10 1.15 1.20 （以後も5cmきざみとする）

- (2) 走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
- (3) コンバインドBのジャベリックボール投げの練習は、主競技場内で実施する。補助競技場および競技場周辺での練習は厳禁とする。
- (4) ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。
ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げる
こととする。羽だけを持って投げることは禁止する。ジャベボールを使用する。

<コンバインド競技>

- (1) 各種目の得点は『JAAF小学生コンバインド種目得点表(2022年度改訂版)』による。得点は男女共通とする。
- (2) 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- (3) スタートまたは試技を行い、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）の場合、得点は0点とする。

1種目目に出場し、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする。

1種目目で欠場した（スタートまたは試技を行わない）競技者は、2種目目には出場できない。

- (4) 1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）、参考記録の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる。
- (5) 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。
- (6) 1位の選手が2名以上出た場合の全国大会出場者の選定方法は以下のとおりとする。
 - ①各種目のいずれかで、より上位の順位となった競技者とする。
 - ②上位の順位が同じ場合は、残った競技の順位でも比較し、より上位の順位となった競技者とする。
 - ③それでも決定しない場合は、該当選手により抽選を行う。

5. 競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。

6. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない

7. 第二競技場（補助競技場）の使用については、次のことを厳守すること。

- (1) 選手・監督・コーチ以外の者の出入りを禁止する。（ADで規制する）
- (2) ベンチを設置することを禁止する。
- (3) ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- (4) 1レーンは、長距離のペース走専用とする。2～4レーンは、流し等の専用とする。
- (5) 直走路5～7レーンはスタートダッシュ専用とする。8レーンはハードル専用とする。
- (6) リレーのバトンパス練習はバックストレートを使用する。
- (7) 走幅跳の練習は所定のピットで行う。
- (8) 走路及びピットに立ち止まっの指導等を禁止する。
- (9) 走路は左回りとし、逆走は禁止する。また、直走路の横断は厳禁とする。
- (10) その他、競技役員の指示に従うこと。

8. 雨天練習場の使用については、次のことを厳守すること。

- (1) スタンド側より
1レーンは、高速専用とする。2レーンは、流し専用とする。
3レーンは、ジョグ専用とする。4レーンは戻り専用とする。
走路の横断は厳禁する。
- (2) 全天候走路上にチームベンチを設置することを禁止する。



9. 全国大会・東海大会申し込み

- (1) メインスタンド下、コンコース中央付近にて行う。
- (2) 全国大会種目・東海大会種目で該当する選手・チームは結果通告後、速やかに申し込みを行うこと。また、出場を辞退する場合は、その旨、申し出ること。

10 その他

- (1) 感染症対策については、別紙「競技会開催における基本的な感染症対策」を参照のこと。
(三重陸上競技協会HP参照)
- (2) メインスタンド1階の入場は、競技役員及び表彰を受ける選手、AD着用者（各チームに受付で配布する指導者用ADは除く）のみとする。
- (3) メインスタンド中央通路より上については、チームベンチエリアとする。使用できるエリアは、地区別に事前に割り当て（ブルーシート使用禁止）
- (4) 2階コンコースはベンチの設置を認める。（大会運営に協力いただけるチームを優先的に割り振る。）
防水塗装保護のため、ベンチを設置する場合は、粘着テープの使用は禁止する。また、スタンド入口側（トイレ側）は通路として使用するので、ベンチの設置は禁止する。
- (5) 投てき場は、使用禁止とする。
- (6) 雨天時及び雨天後は非常に滑りやすいので、アップシューズで参加する場合は、指導者が十分に気をつけて指導すること。
- (7) 選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト及び外周を通り最寄りのゲートから退場すること。
- (8) プログラムの訂正は9時00分までにT I Cまで申し出ること。
- (9) 申込不備による訂正は受け付けない。競技開始後の訂正は一切受け付けない。
- (10) 競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自自宅まで持ち帰ること。持ち物の保管は各自で責任を持つこと。また、カラス被害に注意のこと。
- (11) 横断幕は、主競技場の芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。（最前列は禁止）
- (12) 芝生席でのタープテント等の簡易テントの設置は可とするが、確実に固定すること。
- (13) 写真・動画撮影はスマートフォン・タブレット端末のみ可能とする。（撮影禁止エリアが設定されますので、指示に従うこと）
- (14) 映像・動画・画像の二次使用について
本大会主催者及び日本陸上競技連盟いずれかが認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を、主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。